



「当たり前」になるように

生活指導主任 市毛 大子

早いもので、今年度も残すところ1か月ほどとなりました。4月を迎えれば、それぞれのお子さんが進級・進学をします。

さて、ここで進級・進学をする前に振り返りたいのが、日頃の生活についてです。学習については、普段からご家庭でもお子さんと話す機会が多いのではないのでしょうか。一方、生活について話し合うことは、比較的少ないのではないかと思います。

- ・すすんで、元気よく挨拶する
- ・身の回りのことは、自分で最後までやる
- ・ルールを守って遊ぶ・・・等

子どもからすれば、小さなこと、細かいことを繰り返し言われ、「また言われた。」と感ずることもあるでしょう。ですが、その小さなことの積み重ねが大切なのです。ぜひ、生活面についても、この一年で成長したことや課題を話し合ってみてください。1学期にご紹介した「戸山小の生活」の約束が、どの子にとっても「当たり前」になるよう、今後とも協力下さい。来年度もよろしくお願いいたします。

「自ら感じ、考え、行動する児童の育成」

研究主任 高橋 昌記

本校では昨年度に引き続き、「自ら感じ、考え、行動する児童の育成」を研究テーマとし、生活科、総合的な学習の時間について研究をしてきました。今年で3年目になります。戸山小学校の子どもたちは、素直で、何事にも一生懸命頑張ることができるよさを生かし、さらに主体的に学び、自分の力で課題を解決できるように、実践授業を通して研究を進めてまいりました。

低学年は、自然や友だちと関わる経験を積み重ねることで、進んで活動に取り組むことができました。中学年では、身近な地域や課題に着目し、課題解決のための方法を考え、実践につなげることができました。高学年では、社会や将来について考え、自分たちができることや調べたいことを深く掘り下げて、自分の考えを深めることができました。

1年間の研究を通して、児童の成長を数多く見ることができました。来年度も、一人ひとりの子どもたちのために、成長につなげられる研究に励み続けていきたいと思ひます。

学校だより NO. 252 平成29年3月

戸山
新宿区立 戸山小学校

気持ちよいあいさつ

校長 山崎 涼二

毎朝校門で子どもたちとあいさつを交わし、握手をしていると「今日も一日がんばろう!」という元気をもらいます。

今年になって、ある男の子のあいさつに変化がありました。今までは何となく口ごもりながら「おはようございます」と聞き取りづらい声であいさつをしていたのですが、最近は、あいさつの前に一旦息を吸って「おはようございます」と元気よくあいさつができるようになりました。

実はこの男の子は、サッカーに一生懸命取り組んでいる子です。以前、私とスポーツマンにとって、大切にしなければいけないことは何だろう?と話し合ったことがあります。その時に「まず、しっかりしたあいさつをすること」ということになりました。その日以来、彼のあいさつは日々進化してきました。元気な声であいさつをするとともに、素敵な笑顔も見られるようになりました。

一緒に校門で子どもたちを迎える先生に「〇〇君のあいさつはいいね～」と褒められることもあり、また、あいさつの声だけでなく、私と握手する手の握りも力強くなっています。こんな素敵な子どもたちと日々あいさつができる幸せを、私は感じています。

高学年になってくると、何となく恥ずかしくて、しっかりしたあいさつが交わせない子どもたちも見られます。しかし、思いっきり声を出して元気にあいさつをすると、心から気持ちよくなれるものです。一度試してほしいです。

これからも地域の方々や保護者の皆様の協力をいただきながら、元気なあいさつが交わせるように「あいさつと笑顔が自慢の戸山小」づくりに努めていきます。

